

■プログラム名

スパイラル型協働教育モデル：リーガルマインドによる普遍性と多様性の均衡を目指して

■現状及び展望

- ・ 平成 24 年 12 月 17 日に、パートナー校の関係者を招へいし、キックオフ・セミナーを開催した。
- ・ 平成 25 年 3 月 5 日～14 日に、ショートターム交流としてシンガポール及びタイへ本学の学生をのべ 20 人派遣し、シンガポール国立大学（NUS）、シンガポール教育省付属ランゲージセンター（MOELC）、チュラロンコン大学、チュラロンコン大学付属デモンストレーションスクール（CUD）におけるワークショップ、世界遺産見学、タイの日系企業訪問等を実施した。
- ・ 平成 25 年 4 月 1 日～9 月 30 日に、セメスター交流として NUS の学生を 1 名受け入れた。
- ・ 平成 25 年 5 月 11 日～18 日に、ショートターム交流としてチュラロンコン大学、アテネオ・デ・マニラ大学（AMU）から各 5 名の学生を受け入れ、大牟田市の文化遺産見学、ワークショップ、工場見学等を実施した。
- ・ 平成 25 年 3 月実施のショートターム交流に参加した学生の 1 人が、平成 25 年 6 月 8 日～17 日にカンボジアで開催された国際世界遺産ユースフォーラムの日本代表として選抜された。
- ・ 平成 25 年 7 月 20 日～27 日に、ショートターム交流として NUS、マラヤ大学から各 5 名の学生を受け入れ、平戸市の文化遺産見学、ワークショップ、工場見学等を実施した。
- ・ 平成 25 年 3 月実施のショートターム交流に参加した学生の 1 人が、平成 25 年 7 月 31 日～12 月 15 日に、セメスター交流として NUS へ留学した。
- ・ 平成 25 年 9 月 10 日に、パートナー校の関係者をバンコクに招へいし、チュラロンコン大学法学部ににてコーディネーション・ミーティングを開催した。
- ・ 平成 25 年 9 月 11 日～18 日に、ショートターム交流としてシンガポール及びタイへ本学の学生をのべ 20 人派遣し、NUS、MOELC、チュラロンコン大学におけるワークショップ、文化遺産見学等を実施した。
- ・ 平成 25 年 9 月 17 日～25 日に、ショートターム交流としてフィリピン及びマレーシアへ本学の学生をのべ 20 人派遣し、AMU、フィリピンサイエンス高校、MOZAC（マラッカにある日本語教育実施中等機関）、マラヤ大学におけるワークショップ、マレーシアの日系企業訪問を実施した。
- ・ 平成 25 年 10 月 1 日から、インターンシッププログラムとして、マラヤ大学の協力の下、国際機関であるハーグ国際私法会議香港支部へ学生を 1 名派遣している。当該学生は平成 26 年 3 月にマラヤ大学でインターンシップの内容やその成果について発表する予定。

■問題点及び制度上の改正希望

学生支援経費の支出限度額が補助対象経費総額の 30 パーセント以内というルールは、学生のモビリティを高める上での障壁となることから改正を希望する。

■学生交流数

交流方向	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度(※)
受入	0	0	42
派遣	0	22	37

(※) 予定含む